



みんなのまごころにささえられて

校長 鈴木 薫

希望にあふれる新しい学校、
江戸川小学校がうまれた。

みんなのまごころにささえられてー。

サーモンピンクの校舎、広々とした校庭、

屋上に登れば眼下に流れる江戸川、

遠く海も見渡せる。

さあ、みんなですばらしい学校をつくろう。

ほんとうに魂の入った学校をつくるんだ。

五年、十年、二十年…

のびるもとをつくるんだ。

なんだか、よろこびと共に

身のひきしまるような気がする。

右は、富塚源助初代校長が江戸川小学校PTA会報『えどがわ』（開校一周年記念集）の巻頭言として寄せた一文です。開校して一年が経ち、ようやく体育館やプールが完成した喜びと、様々な問題乗り越えて江戸川小学校の教育を本格的に開始するとの決意が感じられます。

さて、本校五十年の歴史は、「みんなのまごころにささえら

れて」とあるように、保護者・地域の皆様に支えられてきた歩みでもあります。開校直後、緑豊かな学校にしていこうとの思いから、保護者・地域の皆様を中心に廃品回収を何度も行い、その収益を基に藤棚の造営や校内の緑地化を推進しました。また、児童の学習環境を整えるために、「岩石園」や「観察池」などを整備しました。さらに、植樹を行い、今では季節感あふれる美しい景観を形成するようになりました。

これらの取組の根底には、常に「児童のためにできることを第一に考える」という思いがあります。そして、本校はこれらの思いを受け止め、「みんなのまごころにささえられ」ながら、地域の児童が学び育つ学校として歩んでまいりました。

開校五十の歴史は、人生に譬えるならば、ようやく折り返し地点に到達したに過ぎません。今後も、歴代の校長が大切にしてきた「地域と共に」歩み、児童の成長を大切にすることを目指してまいります。

結びに、これまで本校を支え育んでいただきました保護者・地域の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後とも皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お祝いのことば

江戸川区長 多田正見

江戸川小学校の開校五十周年を心からお祝い申し上げます。

本校は、都市化による急激な人口増加に対応するため、昭和四十三年に鎌田小学校と下鎌田小学校を母体校として開校しました。以来、今日まで歴代の校長先生をはじめ、諸先生方のたゆみないご努力と、保護者や地域の皆様の惜しみないご支援によって、素晴らしい伝統と校風を築いてこられました。関係各位の教育への限らない情熱とご尽力に対し、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

本校は、校歌に歌われるように水面に映える朝日や水鳥が群れて飛び立つ、雄大な江戸川のほとりに位置する自然豊かな恵まれた環境にあります。校庭の一角にはPTAの皆様の手作りによる藤棚があり、今も学校応援団により熱心に整備していただいています。開花の季節には多くの児童が集う学校の憩いの場所となっています。

このような環境の中、児童たちは日々、様々な活動に積極的に取り組んでいます。金管バンドは、東部地域祭や運動会などで活躍し、その素晴らしい演奏は、地域で大変評判となっています。

また、異学年と交流する「なかよし班」では、学年を越えて交流し、お互いを尊重し合い、思いやりの心を育んでいます。

親子二代で本校に通学している家庭も多く、保護者や地域との連帯意識が非常に強く、学校教育に対して絶大なご支援をいただいています。「江戸小まつり」では、PTAを中心に、多くの地域団体にご協力いただき、毎年大変な賑わいを見せています。

また、商店街のご協力により児童が各店舗を訪問する「町たんけん」や、福祉施設でのボランティア活動など、地域が教育活動の一翼を担い、児童たちは地域で様々な経験をするとともに多くの出会いを通して、地域との絆を深めています。大変素晴らしいことです。

この開校五十周年を契機として、江戸川小学校が益々地域に愛され、地域とともに発展し、児童一人ひとりが、心身ともに逞しく成長されることを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。